

FANTIC RACING

2025年9月10日

ファンティック・レーシング・ニュース

ファンティック、トルコ GP をトップ 10 でまとめ上げる



トップ 10 をめぐる激しい戦いは特にレース 2 でのグレン=コルデンホフとアンドレア=ボナコルシのレース結果に表れた。アフィオンでの週末はファンティック・レーシング MXGP と『ザ・ホフ』にとっても結果として前向きな内容で、残り 2 戦でランキング 3 位を死守しているからだ。

ここまで7戦での表彰台獲得を見せている、記憶に残るシーズンとっていい2025年。最後の3連戦を前に、ここトルコでのチームのモチベーションは極めて高く、自信を持って臨んだのである。だがフリープラクティス早々にグレン=コルデンホフがクラッシュするとチームに暗雲が漂い始める。その後のレースを通じてクラッシュが響いたファンティックのスターライダーは、しかし、彼自身の250回目のGPレース出走を必死に走り続けたのだ。

アンドレア=ボナコルシは練習走行では2本ともトップ10と手堅くまとめた。だが予選レースではスタートに手間取り、このトリッキーなアフィオン・モータースポーツ・センターでいきなりトップ10圏外からのレースを強いられることになる。この結果、いきなりファンティックXXF450を借りリーダーとなったブライアン=ボガースは日曜日でのポイント確保に望みを託す好スタートで何とかトップ10を走行。手堅く走り切り、一つポジションを落として11位で予選を終了することになった。『ボナ』は13位、コルデンホフは17位となり、レーストラックでのペースのつかみ方や予選レースの進行に課題を残す結果となった。

日曜日朝一番のウォームアップでは、アンドレア=ボナコルシが3位のタイムを記録。チーム全体のムードが上向き中、まずはレース1のスタートに集中していく。コルデンホフとボナコルシはいずれもスタートのいいXXF450に思いきり鞭打ってゲートからいち早く飛び出したが、ターン1での転倒に巻き込まれ、またしてもトップ10圏外からのスタートとなってしまった。チェッカーフラッグが振られるまであきらめずに前を追った二人だったがペースを最後まで取り戻すことはできず、また前走車を抜くには厳しい結果となり、『ザ・ホフ』の12位と、続く『ボナ』の13位が結果となってしまった。ボガースはさらに遅れて転倒も喫して20位である。

コルデンホフはしかしあきらめずにレース2でもジャンプアップを狙ってゲートを飛び出した。だが1コーナーで彼が選んだアウトサイドのラインはせっかくのスタートを生かせるものではなかった。同じようにボナコルシをすぐ後ろに従えてのトップ10圏外で戻ってきたコルデンホフ。だが二人ともそこからのペースは堅実で、時に激しくチャージし、それぞれ9位と10位に食い込んだ。総合ではコルデンホフが9位、ボナコルシは11位という結果になったのだ。ボガースはスタート後にクラッシュを喫し、最後尾からなんとか追い上げて17位でのチェッカーとなり、総合では19位という結果であった。

レース2では2台のファンティックがトップ10に食い込み、またコルデンホフの2位という結果はチームとしては明かりの見えるレースとっていいだろう。だがチームは休む間もなく次戦の中国大会に向けて移動を開始している。コルデンホフはなおもランキング3位を堅守しているのだ。

グレン=コルデンホフ：フリープラクティスで大きく転倒しちゃって、その後ずっとそれを引きずっていたよ。だから土曜日の予選は文字通りのサバイバルだったんだ。だけどフィジカルもメンテナンスしてもらって、ぐっすり眠れたことで日曜日の朝にはだいぶいい気分になっていたんだ。もちろん土曜日のレースで17番手だった

ってことは、2つのレースでまともな結果を残すことってとても大変だっていうのはわかるだろう？だから目標をトップ10に切り替えたんだよ。結果として総合9位だから何とかこれはモノにできたし、ポイント差も何とか守ることができたから、まあよかったってことにしておこう。もっと悪い状況だって考えられたんだからね。とにかく来週に向けてちょっと休ませてもらうよ。

アンドレア=ボナコルシ：厳しい週末だったね。スタートは失敗しちゃったし、このコースは一番いいラインが一本しかない太いわだちなんだ、、だから前走車を追い抜くには相当速くないと難しいんだよ。レース2で何とかトップ10に入れたわけだけど、これが今日の僕にできる最善だったね。もちろんもっといいスタートは切れるはずだし、そもそも予選レースでもっと走れていればいいスタートを切れるはずだったからね。いずれにしろ、残りは2レースしかないから、すべてを賭けて走るよ。

ブライアン=ボガース：予選レースではスタートは決まったんだ。その後ミスをして何台かに抜かれちゃったけど、11位だから僕としては悪くないと思うよね。でも日曜日は全くペースが掴めないままに終わってしまったんだ。レース1ではクラッシュしちゃったおかげで何もかもがコンパクトに収まっているこのトラックでは、ミスこそがすべてを決めてしまうものなんだ。第2レースは落ち着いていて、前半は思ったよりもいいレースだったと思うよ。でも徐々に抜かれ、最後にはなんだか一日働いて疲れ切ってオフィスに居残っている感じになってしまったんだ。まあ正直得意なトラックではない感じだったけど、言い訳はしないよ。僕が今日は遅すぎたんだ。でももうあと2戦だからね。もっといいレースをして見せたいし、そこに向けたモチベーションは高いんだ。